

令和5年度 福岡県学力調査 結果のお知らせ

福津市立福間中学校

■ はじめに

令和5年6月20日(火)、1学年と2学年を対象に福岡県学力調査(国語、数学)が実施されました。この調査は、学力の実態を調査し、生徒のつまずきに応じた指導を積み上げていくために実施しているものです。なお、本調査結果の概要を以下にお示ししますが、結果は、学力の特定の一部であり、学力のすべてを示すものではありません。

■ 調査結果について

学力調査における福間中と福岡県の平均正答率(%)を各教科に分けて比較すると、次のようになっています。

1学年の国語については、県平均と比較して上回っています。

1学年の数学については、県平均と比較して大きく上回っています。

2学年の国語については、県平均と比較して大きく上回っています。

2学年の数学については、県平均と比較して上回っています。

■ 本校の課題と今後の授業改善について

全国学力調査と同様に、本校の各教科部会及び各学年会において調査結果を分析して明らかにした課題と、その解決に向けての学習指導の在り方を検討いたしました。以下はその内容です。

【1学年】

◇国語◇

次のような課題がみられました。

- ① 会話文中で人物の行動や気持ちなどについて叙述を基に捉えること。
- ② 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。

そこで、解決のために次のような学習指導を行います。

- ① 物語の学習等で、表現技法や情景描写などの筆者が意図して仕組んだ叙述の細部にも注目し、登場人物の心情に迫るような授業展開を行います。
- ② 設定した課題に対して適切に取捨選択できるように、文章作成やスピーチ等の言語活動の中で交流活動を行い、表現する力を高めていきます。

◇数学◇

次のような課題がみられました。

- ① 数と計算(小数と分数の計算)
- ② データの活用

そこで、解決のために次のような学習指導を行います。

- ① 計算方法を丁寧に説明し、小学校の知識や別解、誤答などを活用しながら小数や分数の問題にも少しずつ前向きに取り組めるような授業にしていきます。
- ② 目的に応じてデータを収集し、データを表やグラフに整理し、データの分布の傾向を読み取り、考察できるようにします。また、資料を比較・検討したり、その考えを交流したりする活動を通して考察する機会を設けます。

◇学年◇

- ・国語科、数学科ともフォローアップシート(※)を活用して各自の苦手分野の克服を目指します。また、フォローアップシートの残りの問題は、家庭学習で取り組ませ、基本的な知識や技能の習得や、活用力の育成を図ります。
- ・授業においてこれまで以上に交流活動を積極的に取り入れ、自分の考えを伝えたり友だちの考えを聞いたりする活動を通して、考える力や表現力の向上につなげていきます。

【2学年】

◇国語◇

次のような課題がみられました。

- ① 文章の要旨を捉え、内容を読み取ること。
- ② 目的や相手に応じて、自分の考えをまとめ、相手にわかりやすく伝えること。

そこで、解決のために次のような学習指導を行います。

- ① 文章中に出てくる言葉や人物を確認し、段落の関係や場面と場面、場面と描写を結びつけて考える指導を丁寧におこない、単元のまとめの言語活動を通して定着を図ります。
- ② 自分の考えを書く際に、読み手に合わせて目的や相手を設定して文章をまとめる活動をおこない、交流することを通して、表現力を高めていきます。

◇数学◇

次のような課題がみられました。

- ① 式の計算
- ② 展開図や図形の測量

そこで、解決のために次のような学習指導を行います。

- ① 計算方法を作業として暗記するのではなく、誤答などを活用しながら理解を深める授業にしていきます。小テスト等を行い補充することで、計算力を高めていきます。
- ② ICTを活用し、視覚的にも理解を助ける授業にしていきます。また、公式を使うだけでなく、成り立つ過程まで理解できるようにしていきます。

◇学年◇

- ・国語科、数学科ともフォローアップシート(※)を活用して各自の苦手分野の克服を目指します。また、フォローアップシートは、家庭学習で取り組ませ、基本的な知識や技能の習得や、活用力の育成を図ります。
- ・授業における交流活動において、活動の目的・内容・方法を明確にして活動の質の向上を図るとともに、活動を通して学んだことや、できるようになったことが実感できる授業を行います。

※フォローアップシートとは、福岡県教育委員会が今回の県学力調査の復習のために作成した問題集のこと。